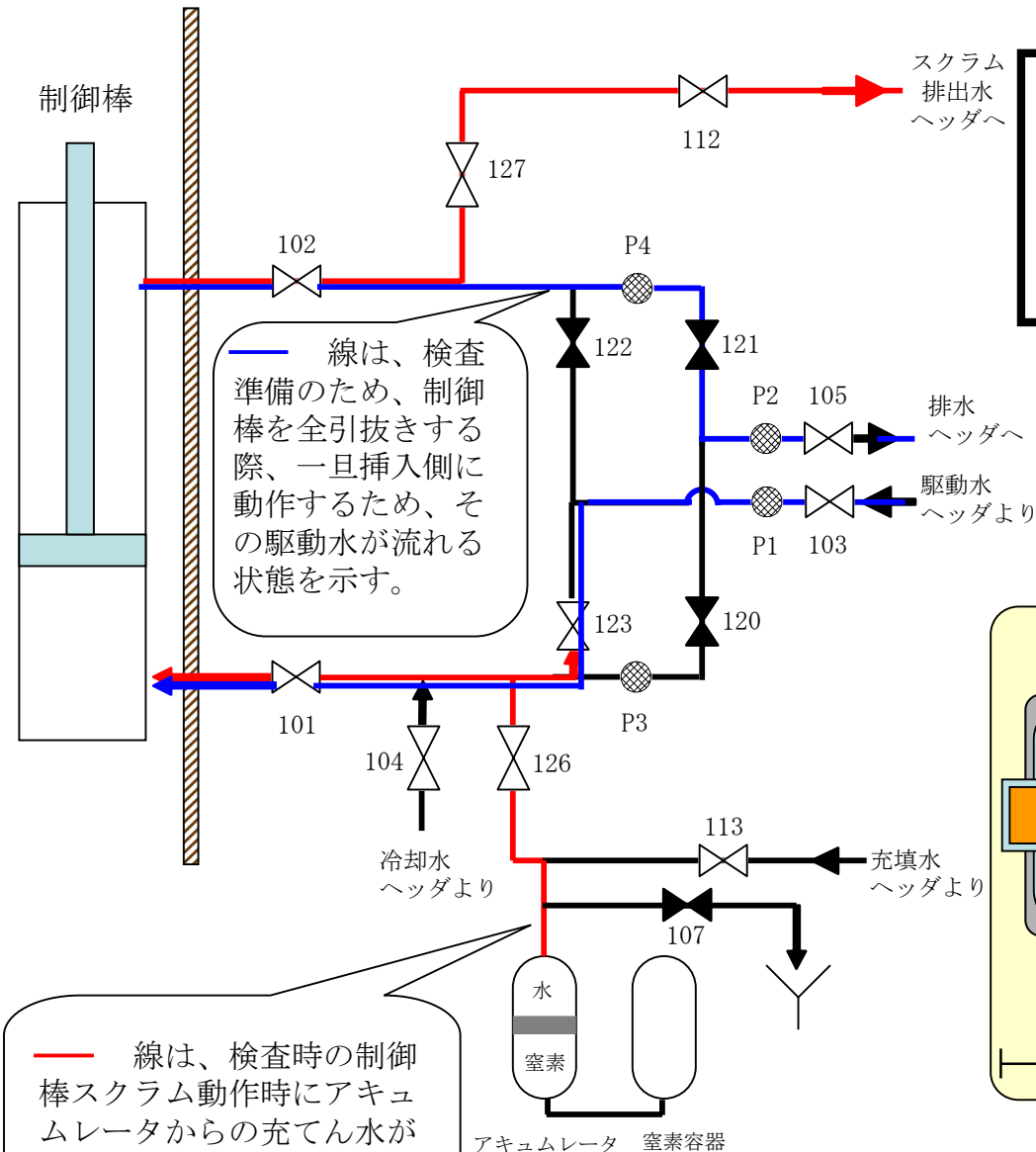
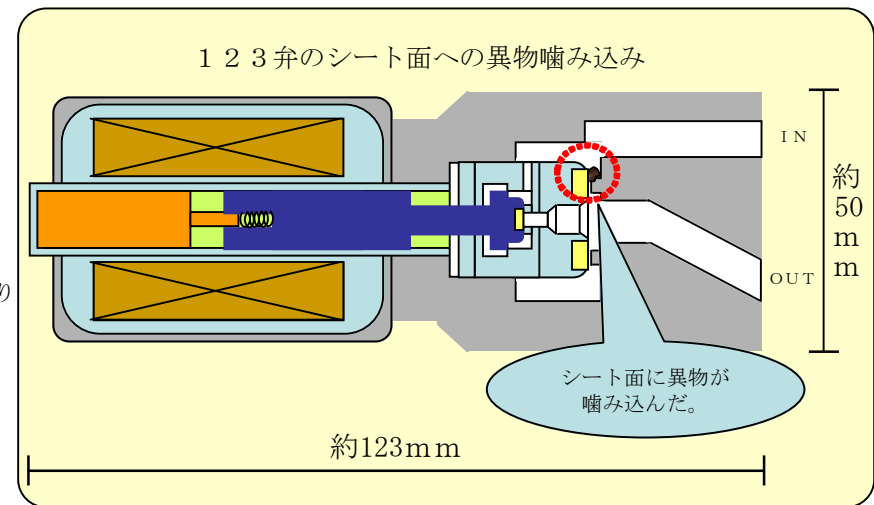
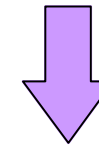


制御棒過挿入事象の推定メカニズム（1 / 2）

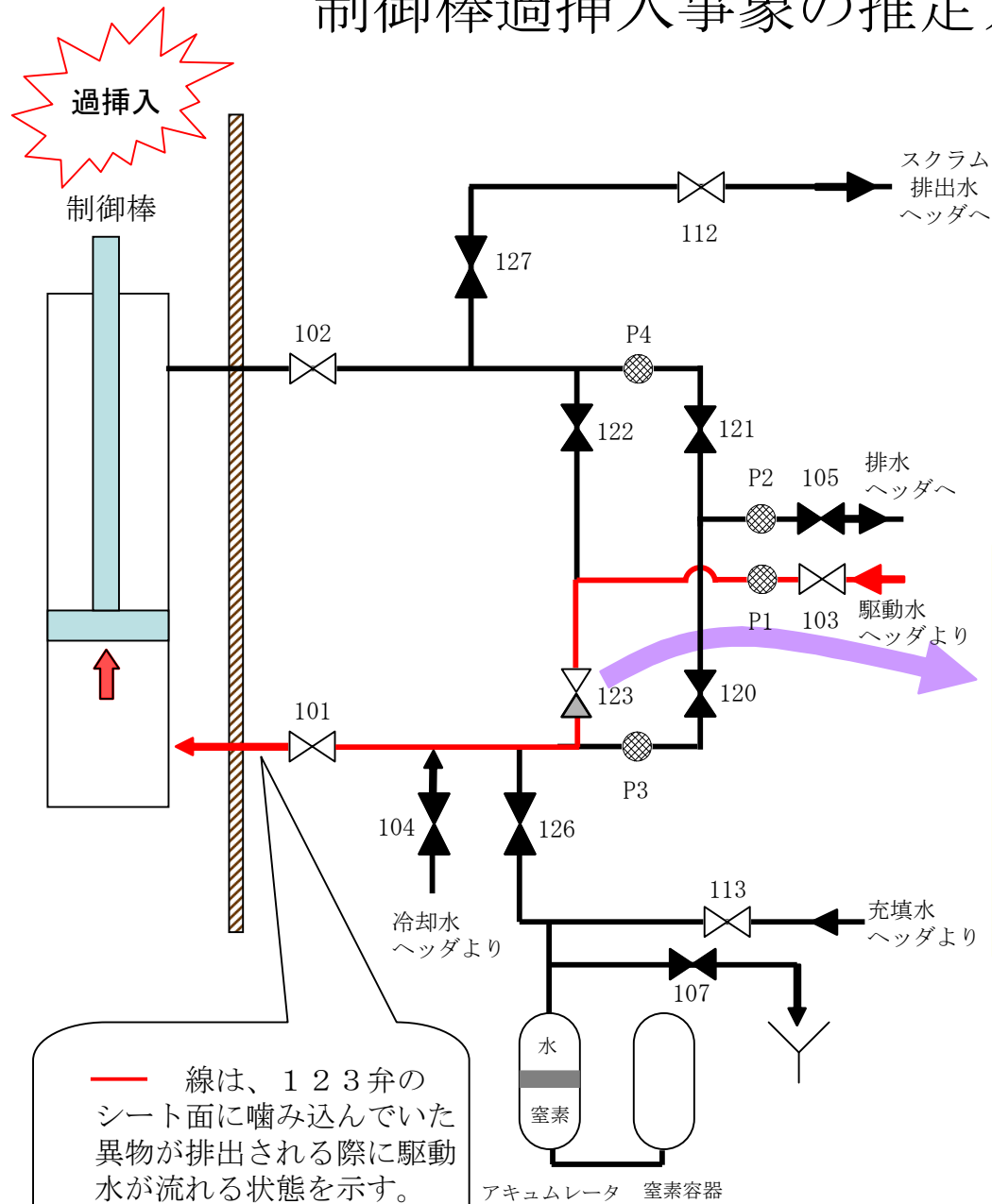


【5月12日 スクラム機能検査時】

スクラム機能検査（検査準備含む）において、123弁が開動作（その後閉動作）し、この時に123弁のシート面に異物が噛み込んだ。

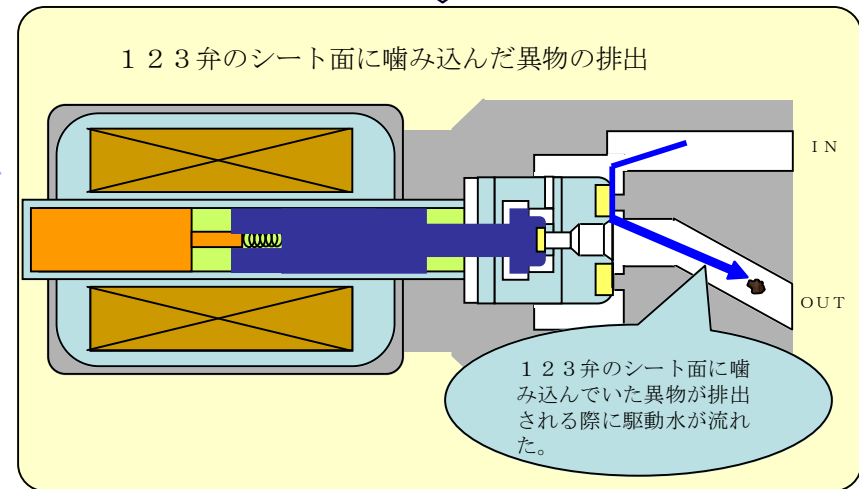


制御棒過挿入事象の推定メカニズム（２／２）



【５月２８日 HCU隔離解除操作時】

当該HCUの隔離解除操作を行う過程において、103弁を全開した際、123弁に駆動水圧力（約1.15MPa）がかかり、シート面に噛み込んでいた異物が排出される際に、瞬時、駆動水が流れ、その結果、制御棒を挿入側に動作させることが可能な圧力（約0.5MPa）が加わり、制御棒が過挿入となった。



【５月２８日 制御棒過挿入発生直後】

異物が排出されたことから123弁が全閉状態に戻り、制御棒を挿入側に動作させる駆動水が流れなくなったことから、操作することなく自重で全挿入位置に戻った。